

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果

文部科学省が実施した、令和6年度の「全国学力・学習状況調査」について、芦屋市全体の結果を取りまとめましたので、お知らせします。

## 1 芦屋市全体の結果について

今年度の教科に関する調査は、国語、算数・数学の2教科で実施されました。本市の平均は、いずれの教科でも小中学校ともに全国平均を上回り、市教育委員会では、「評価できる結果」と考えています。

一方、質問紙調査結果では、本市児童生徒の学習への意欲や自己肯定感について課題が読み取れることから、AshiyaPEACEプロジェクトを継続して実施し、改善に向けて取り組みます。

## 2 調査の概要

### (1) 調査の目的

- ①義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てる。
- ③そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### (2) 調査の対象学年及び実施状況

対象学年	在籍数(人)	受検者数(人)
小学校6年生	787	731
中学校3年生	554	470
合計	1,341	1,201

### (3) 調査実施日 令和6年4月18日(木)

### (4) 調査の内容

#### ① 教科に関する調査(国語、算数・数学)

- ア ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容  
・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- イ ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力  
・様々な課題解決のための構想を立て、実践し評価・改善する力等

※調査問題では、上記アとイを一体的に問うこととする。

出題形式は、各教科で記述式の問題を一定割合で導入する。

#### ② 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

### 3 調査結果の公表について

#### (1) 国・県の基本方針

本調査により測定できるのは学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえ、結果の公表にあたっては、序列化や過度な競争につながらないように十分配慮することとしています。

#### (2) 本市の基本方針

調査結果を十分に把握・検討し、今後の教育施策や教育実践の改善に反映していくことが重要であるとの基本的な考えのもと、説明責任を果たすためにも市全体としての結果を示すこととしています。

### 4 本市の各教科の調査結果の概要

#### 【全体の結果一覧】

校種	教科		国語	算数・数学
	小学6年生	全国	平均正答率	67.7
芦屋市		平均正答率	71	73
		全国比較	105	115
		評価	良好	極めて良好
中学3年生	全国	平均正答率	58.1	52.5
	芦屋市	平均正答率	62	62
		全国比較	107	118
		評価	良好	極めて良好

※全国比較は全国の平均正答率を100とした場合の本市の数値。評価は115以上を「極めて良好」、105以上115未満を「良好」、95以上105未満を「おおむね良好」、95未満を「課題あり」としている。

#### 【小学校 国語】

問題番号	設問の概要	平均正答率	
		芦屋	全国
1	▲1 学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したもとして、適切なものを選択する	64.7%	62.5%
1二 (2)	▲2 オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する	56.9%	52.9%
2 二	▲3 【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く	55.5%	56.6%

#### 【課題と改善策】

▲1 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することに課題が見られます。そこで、授業においては、日常生活から具体例を引き出し、ロールプレイやディスカッションなど実際のコミュニケーション場면을再現することで実践的に取り組むことができるようになります。また、自己評価や相互評価を取り入れ、子どもの表現力と意識を高めていきます。

▲2 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現をくふうすることに課題が見られま

す。そこで、授業においては、視覚的な資料（図やグラフ）を使って論点を明確にする方法や、引用の仕方について指導する他、実際のプレゼンテーションや文書作成など実践的な活動を通じて、資料の効果的な活用方法を学ぶことができる取り組みを行います。

- ▲3 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られます。そこで、授業においては、具体的な例文を用いて、事実、感想、意見の違いについて分類する活動を取り入れます。また、実際に事実、感想、意見を区別した文章を書く経験を積むことができるように、単元末の表現活動の充実を図ります。

### 【中学校 国語】

問題 番号	設問の概要	平均正答率	
		芦屋	全国
1 三	▲1 話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	47.7%	44.0%
1 四	▲2 話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く	45.5%	44.7%
2 一	▲3 本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する	34.0%	36.3%

### 【課題と改善策】

- ▲1 意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみることに課題が見られます。そこで、授業においては、自分の意見に対して適切な根拠を探す活動に加え、それを文章にまとめたり、話し合ったりするなど実践的な活動を取り入れます。
- ▲2 話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることに課題が見られます。そこで、授業においては、身近な話題を選択させた上で、実際に会話やディスカッションを行い、他者の意見を取り入れながら自分の考えを述べる活動を取り入れます。
- ▲3 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題が見られます。そこで授業においては、図などを効果的に取り入れた文章を生徒自身に書かせることや、新聞等を用いて、文章と図の関係を考える活動を取り入れます。

### 【小学校 算数】

問題 番号	設問の概要	平均正答率	
		芦屋	全国
3 (3)	▲1 直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く	54.5%	36.5%
4 (3)	▲2 家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く	45.1%	31.0%
5 (3)	▲3 折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く	53.4%	44.0%

### 【課題と改善策】

- ▲1 球の直径と立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題が見られます。そこで、授業においては、実際の球と立方体の模型を用いて、それぞれの直径と一辺の長さを測定させ、具体的な数値で比較する活動を取り入れます。

- ▲2 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を記述することに課題が見られます。そこで、授業においては、グラフや表を使って速さの違いを視覚的に示した上で、子ども自身が速さの公式「速さ＝道のり÷時間」を使って、言葉や式で説明できる活動を取り入れます。
- ▲3 折れ線グラフから数値を読み取り、条件に当てはまることを記述することに課題が見られます。そこで、授業においては、生徒に身近なデータ（例えば、気温の変化や学校の給食の残量など）を集めさせ、そのデータを元に折れ線グラフを作成したり、自分たちが作成したグラフを読み取り、条件に当てはまることを説明したりする活動を取り入れます。

### 【中学校 数学】

問題 番号	設問の概要	平均正答率	
		芦屋	全国
7 (2)	▲1 車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する	35.2%	25.9%
8 (2)	▲2 18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する	29.4%	17.1%
9 (2)	▲3 点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の大きさについていえることの説明として正しいものを選ぶ	36.0%	26.7%

### 【課題と改善策】

- ▲1 複数の集団のデータの分布を比較し、数学的な表現を用いて説明することに課題が見られます。そこで、授業においては、具体的な例題を使い、中央値、四分位範囲、分散、標準偏差などの指標を計算させ、データの特徴を捉える活動を取り入れます。
- ▲2 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題が見られます。そこで、授業においては、一次関数が関係する日常の事象（例えば、距離と時間の関係や料金計算）を題材にし、一次関数の式を立てる練習や、実際にグラフを描き、傾きや切片の意味を視覚的に理解できるようにします。
- ▲3 事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見出すことに課題が見られます。そこで、授業においては、生徒に具体的な図形の問題を提示し、角の大きさに注目させます。次に、角度測定や図形の分解・再構成を通じて新たな性質を発見する活動を取り入れます。

## 5 教科の学習に対する子どもの意識の変化

設 問	教 科	小学校				中学校			
		R4	R5	R6		R4	R5	R6	
		芦屋	芦屋	芦屋	全国	芦屋	芦屋	芦屋	全国
勉強が好き (どちらかというが好き)	国語	61.2	60.3	61.9	62.0	57.3	58.3	65.1	64.3
	算数・数学	65.8	66.0	65.6	61.0	67.5	64.7	57.4	57.2
	理科	76.0		81.6	83.6	68.5		65.6	68.3
	英語		60.7	57.5	69.3	52.4	55.3		
授業はよくわかる (どちらかというわかる)	国語	85.2	83.5	85.7	86.3	78.1	73.1	84.9	82.7
	算数・数学	83.3	81.9	87.5	82.1	83.9	81.4	80.4	75.7
	英語			75.7	78.3	67.3	70.4		
勉強は大切 (どちらかという大切)	国語	92.8	90.8	93.6	94.5	92.2	89.9	94.4	93.9
	算数・数学	94.0	90.5	95.7	94.6	89.2	88.1	86.9	87.2
	英語		86.8	89.2	92.1	88.5	88.9		
授業で学習したことは 将来、役に立つ(どちらかといえば、役に立つ)	国語	92.0	88.0	91.6	93.2	88.3	85.5	88.0	90.6
	算数・数学	91.2	90.4	94.0	94.1	74.6	76.0	74.6	78.5
	英語					88.2	90.3		

### 小学校

- ・国語・算数では、学習への意欲や、学習の有用感など、各質問項目において、全体的に昨年度より数値が高くなりました。
- ・英語においては、各項目において全国比より低い数値です。特に「英語が好き」という項目については、全国より11.8ポイントも低く、市内比較においても、昨年度よりも数値が低くなりました。

### 中学校

- ・国語は、学習への意欲や、学習の有用感など、各質問項目において、全体的に昨年度より数値が高まり、全国比においても高いです。
- ・数学・理科においては、学習への意欲や、学習の有用感など、各質問項目の市内比較において、全体的に昨年度より数値が下がり、全国比よりも低いものが散見されます。

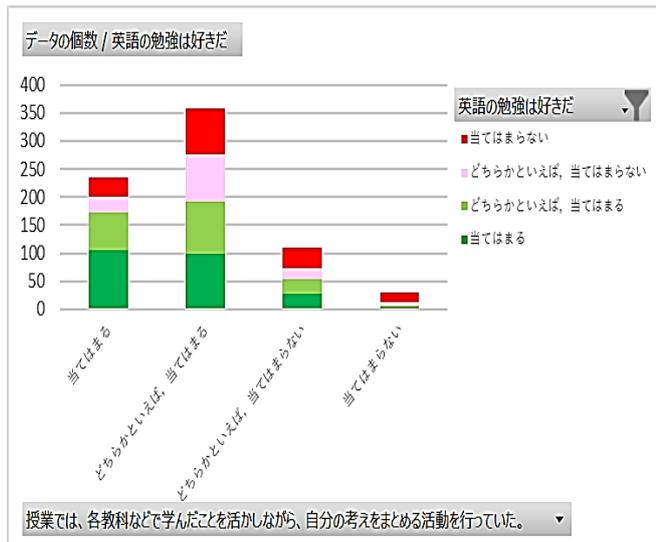
### 【指導の改善の方向性】

#### ・小学校英語の「勉強が好き」の項目について（資料①②参照）

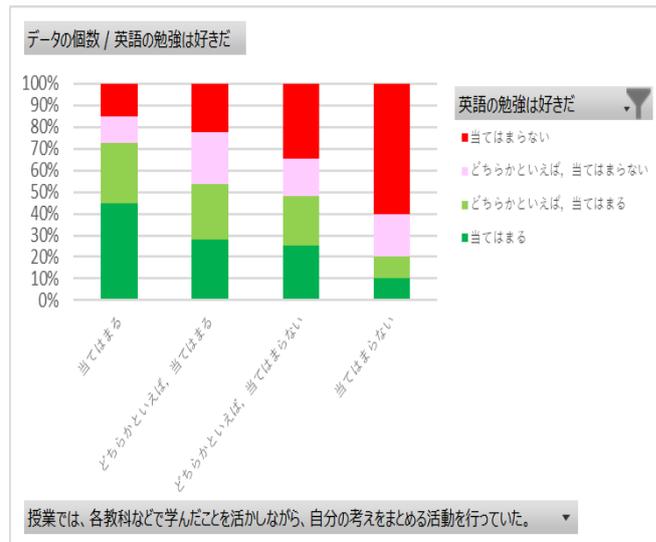
英語への学習意欲は特に数値が低く課題です。児童質問紙のクロス集計の結果、「授業では、各教科などで学んだことを活かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。」という質問に「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答をした児童生徒は、「英語の勉強は好きだ」という質問項目に肯定的に回答していることがわかりました。**単元の終末に、自分の考えをまとめる活動を取り入れる**ことによって、英語学習が好きだと感じる児童が増えるよう取り組みます。

また、英語学習の担当者会を早急に開催し、各校の子どもの実態および授業方法について確認の上、単元末の活動の充実を図るように周知すると共に、今後の方針について協議します。

資料① 各項目の人数



資料② 各項の割合



6 『自分自身に関すること』、『他者とのかかわり』、『学校や先生に関すること』に関する肯定的な回答の意識変化（※空欄は、R4年度までに、調査がなかったもの）

設 問		小学校				中学校			
		R4	R5	R6		R4	R5	R6	
		芦屋	芦屋	芦屋	全国	芦屋	芦屋	芦屋	全国
自分にはよいところがあると思う。	A	78.6	82.5	84.7	84.1	77.2	84.0	80.8	83.3
将来の夢や目標を持っている。		77.6	74.1	80.0	82.4	64.5	67.7	67.0	66.3
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある。			86.2	91.1	91.7		87.5	88.8	89.8
人が困っている時は、進んで助けている。	B	85.4	87.5	90.5	92.7	87.3	90.3	90.8	90.1
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。		95.2	94.6	94.6	96.7	94.6	95.3	95.5	95.7
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。			67.2	80.3	83.5		59.9	77.0	76.1
自分と違う意見について考えるのは楽しい。		71.5	67.4	70.1	75.8	77.5	79.7	78.0	76.2
人の役に立つ人間になりたいと思う。		93.6	94.1	94.1	95.9	95.2	94.6	95.3	95.2
友達関係に満足している。			88.1	88.3	91.1		91.1	87.1	90.1
先生は自分のよいところを認めてくれていると思う。	C	79.5	81.3	87.0	89.9	83.9	83.1	86.6	90.4
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。			89.4	80.1	87.9		82.1	76.7	84.9
困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。		65.5	60.1	62.7	67.1	68.1	65.1	62.3	67.5
学校に行くのは楽しいと思う。		83.1	80.8	80.7	84.8	83.3	82.0	81.7	83.8

## 小学校

- ・『自分自身に関すること』(A)、『他者との関わり』(B)については、肯定的に回答した児童の割合が、前年より複数項目で上昇しました。特に、「自分にはよいところがある」という質問項目において、肯定的な回答割合が前年より上昇し、全国より高くなりました。
- ・一方、質問項目全般において、依然、全国と比べると肯定的な回答割合が低い割合にあります。

## 中学校

- ・『他者との関わり』(B)については、複数の項目で肯定的な回答割合が前年より上昇し、全国より高くなりました。
- ・一方、『自分自身に関すること』(A)については、「自分にはよいところがある」という質問項目において、肯定的な回答割合が前年より低下し、全国より低くなりました。

## 共通課題

- ・『先生や、学校との関わり』(C)については、すべての項目において肯定的な回答割合が全国より低くなりました。また、前年よりも肯定的な回答割合が低くなっているものもあります。特に「学校に行くのは楽しいと思う」については、小学校、中学校ともに前年より低下し、全国より低くなっています。

### 【指導の改善の方向性】

#### 小学校

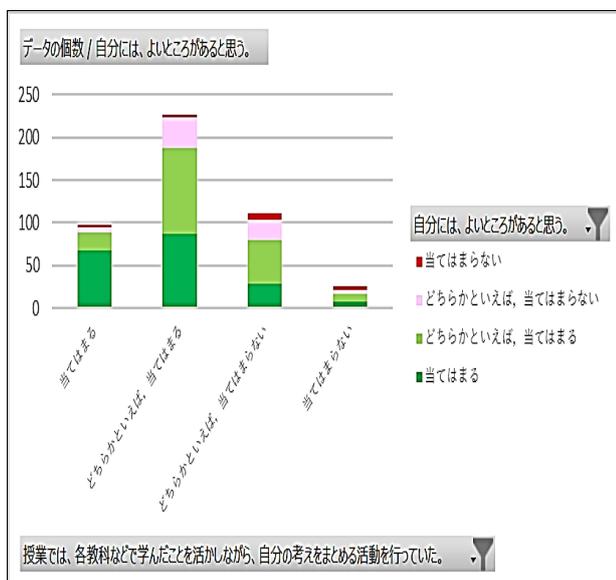
昨年度より、**問題解決的な学習や、単元末の言語活動の充実**に努めた結果、全般的に数値の向上が見られたと考えられます。継続して取り組むことで改善を目指します。

#### 中学校

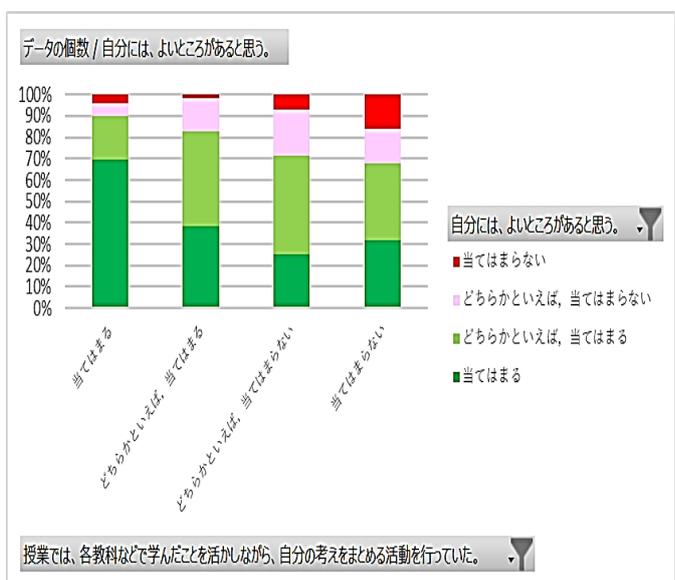
#### ・「自分にはよいところがある」という質問項目について（資料③④参照）

クロス集計の結果、「授業では、各教科などで学んだことを活かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。」という質問に「当てはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した生徒は、「自分には、よいところがある」という質問にも肯定的に回答していることがわかりました。また、「当てはまる」と回答した生徒が全体の25%程度にとどまることから、中学校において**単元末の言語活動の充実をはかる**ことによって、子どもの自己肯定感が高まるよう取り組みます。

#### 資料③ 各項目の人数



#### 資料④ 各項目の割合



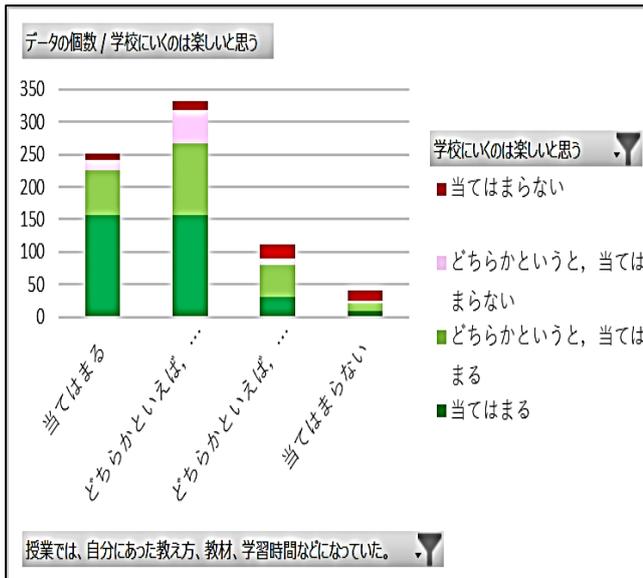
## 共通課題

### ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について（資料⑤⑥⑦⑧参照）

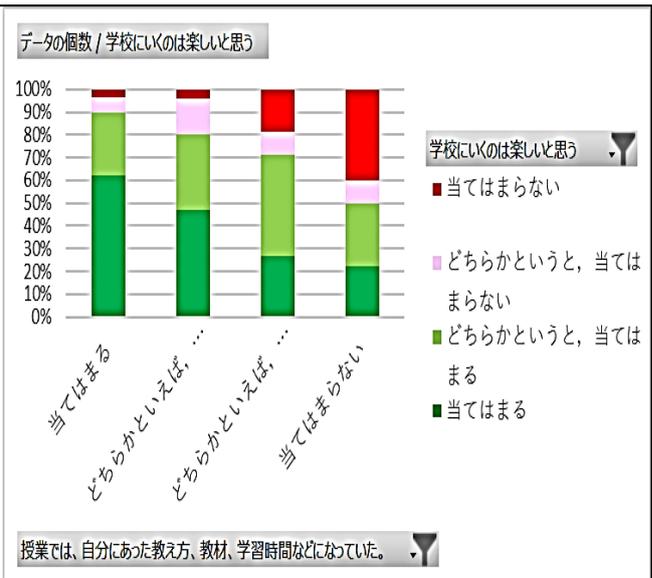
クロス集計の結果、「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」という質問に「当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまる」と回答をした児童生徒は、「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問項目にも肯定的に回答していることがわかりました。学習課題だけでなく、学習環境や学習方法にも個別最適化の視点を取り入れることによって、子ども一人ひとりが安心して通える学校にしていきます。

## 小学校

### 資料⑤ 各項目の人数

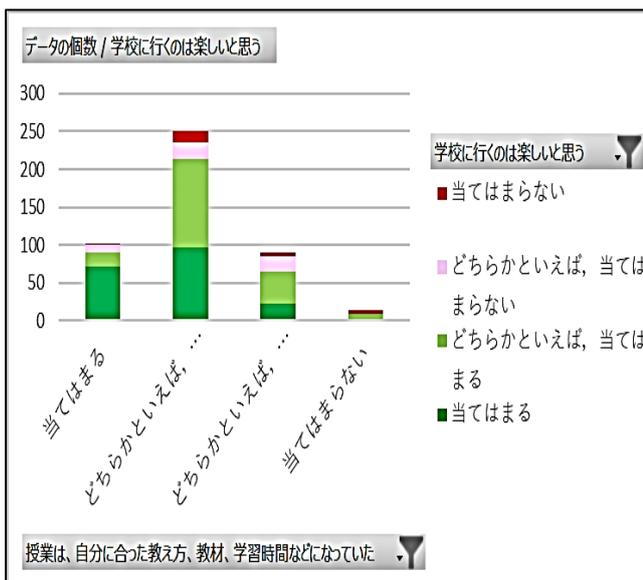


### 資料⑥ 各項の割合

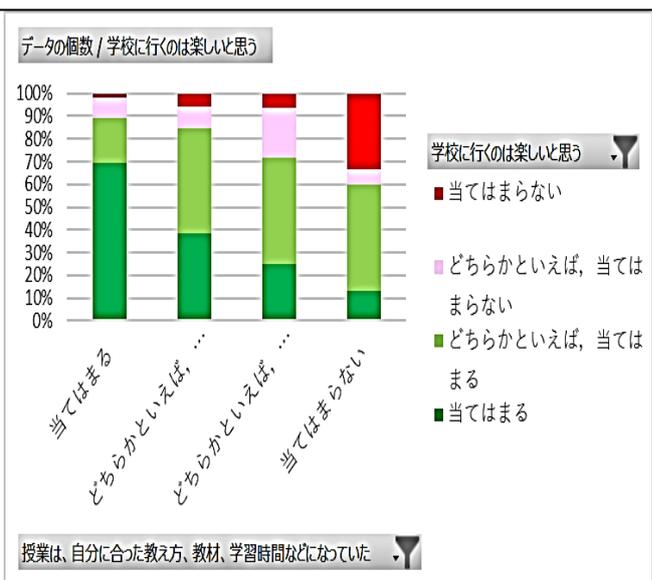


## 中学校

### 資料⑦ 各項目の人数



### 資料⑧ 各項の割合



## 7 児童生徒の生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査結果（全項目）

※全国平均を100とした場合の本市の数値。105以上を「緑」、95未満を「赤」としている。

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
1	朝食を毎日食べている。どちらかという食べている。	芦屋市	93.2	93.1
		全国	93.7	91.2
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている。どちらかという寝ている。	芦屋市	85.9	84.9
		全国	82.9	80.7
3	毎日、同じくらいの時刻に起きている。どちらかという起きている。	芦屋市	91.7	93.5
		全国	91.6	92.5
4	自分にはよいところがあると思う。どちらかといえばあると思う。	芦屋市	84.7	80.8
		全国	84.1	83.3
5	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。どちらかというと思う。	芦屋市	87.0	86.6
		全国	89.9	90.4
6	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。どちらかというと思う。	芦屋市	<b>80.1</b>	<b>76.7</b>
		全国	87.9	84.9
7	将来の夢や目標を持っている。どちらかという持っている。	芦屋市	80.0	67.0
		全国	82.4	66.3
8	人が困っている時は、進んで助けている。どちらかという助けている。	芦屋市	90.5	90.8
		全国	92.7	90.1
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。どちらかというと思う。	芦屋市	94.6	95.5
		全国	96.7	95.7
10	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。どちらかというと思う。	芦屋市	<b>62.7</b>	<b>62.3</b>
		全国	67.1	67.5
11	人の役に立つ人間になりたいと思う。どちらかというと思う。	芦屋市	94.1	95.3
		全国	95.9	95.2
12	学校に行くのは楽しいと思う。どちらかというと思う。	芦屋市	80.7	81.7
		全国	84.8	83.8
13	自分と違う意見について考えるのは楽しい。どちらかという楽しい。	芦屋市	<b>70.1</b>	78.0
		全国	75.8	76.2

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
14	友達関係に満足している。どちらかという満足している。	芦屋市	88.3	87.1
		全国	91.1	90.1
15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある。ときどきある。	芦屋市	91.1	88.8
		全国	91.7	89.8
16	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり3時間以上勉強をしている。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	芦屋市	33.7	17.0
		全国	11.0	9.2
17	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり4時間以上、勉強をしている。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	芦屋市	27.2	12.3
		全国	7.3	5.7
18	あなたの家には、およそどれくらい本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）。	芦屋市	別項にて グラフ表記	
		全国		
19	新聞を読んでいる	芦屋市	18.8	7.9
		全国	11.6	7.3
20	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。どちらかというと思う。	芦屋市	80.3	77.0
		全国	83.5	76.1
21	5年生（中学校1、2年生）までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3以上使用した。	芦屋市	53.2	54.6
		全国	59.5	64.5
22	ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	82.8	70.1
		全国	85.5	80.2
23	ICT機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐに調べることができる。（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	91.7	92.7
		全国	92.1	93.9
24	ICT機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができる。（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	81.6	73.7
		全国	86.0	82.4
25	画像や動画、音声などを活用することで、学習内容がよくわかる。（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	86.0	84.7
		全国	89.8	89.0
26	ICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	75.3	69.4
		全国	79.2	77.7

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
27	ICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	82.2	<b>81.5</b>
		全国	86.1	86.2
28	ICT機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる。（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	<b>81.8</b>	<b>76.8</b>
		全国	87.1	85.2
29	普段（月曜日から金曜日）、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、1日当たり30分以上勉強のために使っている。	芦屋市	<b>37.6</b>	37.0
		全国	44.2	36.4
30	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどのぐらいの時間、テレビゲーム（スマートフォンなども含む）をしますか。	芦屋市	別項にて グラフ表記	
		全国		
31	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどのぐらいの時間、携帯電話やスマートフォンで動画などを視聴しますか。（勉強時間は除く。）	芦屋市	別項にて グラフ表記	
		全国		
32	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。だいたい守っている。	芦屋市	69.8	71.4
		全国	71.1	72.2
33	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている。どちらかといえば、している。	芦屋市	78.6	78.2
		全国	82.3	76.7
34	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。どちらかといえば、できている。	芦屋市	82.6	78.9
		全国	80.7	78.6
35	放課後や週末に何をしておこなうことが多いですか。	芦屋市	別項にて グラフ表記	
		全国		
36	5年生までに（中学校1、2年生までに）受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。どちらかというとしていた。	芦屋市	68.7	65.1
		全国	67.6	64.8
37	5年生までに（中学校1、2年生までに）受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。どちらかというに取り組んでいた。	芦屋市	80.9	77.6
		全国	81.9	80.3
38	5年生までに（中学校1、2年生までに）受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。どちらかというに行っていた。	芦屋市	80.8	<b>70.0</b>
		全国	79.6	75.4
39	5年生までに（中学校1、2年生までに）受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。どちらかというとなっていた。	芦屋市	<b>79.3</b>	<b>76.3</b>
		全国	84.3	80.9

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
40	学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができている。どちらかというときでている。	芦屋市	83.2	84.1
		全国	86.3	86.1
41	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。どちらかというときでている。	芦屋市	82.2	76.9
		全国	80.8	77.9
42	授業で学んだことを次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることが他の学習で生かしている。どちらかというとき生かしている。	芦屋市	82.1	77.0
		全国	83.7	79.0
43	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。どちらかというとき取り組んでいる。	芦屋市	89.4	88.6
		全国	91.6	92.3
44	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。どちらかというとき取り組んでいる。	芦屋市	<b>76.0</b>	<b>76.1</b>
		全国	81.3	82.2
45	学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。どちらかというとき決めている。	芦屋市	85.5	88.1
		全国	84.2	86.3
46	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。どちらかというとき取り組んでいる。	芦屋市	81.1	79.7
		全国	82.5	80.6
47	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。どちらかというとき取り組んでいる。	芦屋市	<b>82.3</b>	89.2
		全国	88.2	91.7
48	国語の勉強が好き。どちらかというとき好き。	芦屋市	61.9	65.1
		全国	62.0	64.3
49	国語の勉強は大切だと思う。どちらかというとき思う。	芦屋市	93.6	94.4
		全国	94.5	93.9
50	国語の授業の内容はよく分かる。どちらかというときよく分かる。	芦屋市	85.7	84.9
		全国	86.3	82.7
51	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。どちらかというとき思う。	芦屋市	91.6	88.0
		全国	93.2	90.6
52	国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解している。どちらかというとき理解している。	芦屋市		78.7
		全国		78.7

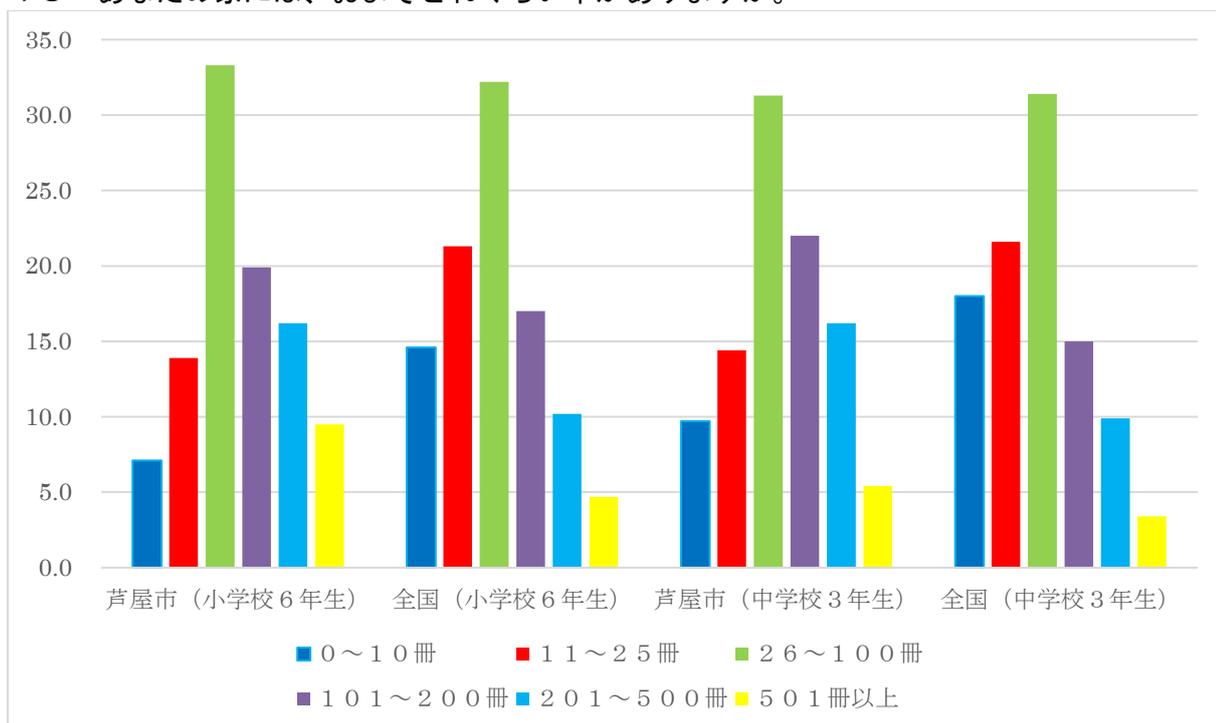
No.	質問事項	区分	小学校	中学校
53	国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。どちらかというまとめている。	芦屋市		81.1
		全国		80.5
54	国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いている。どちらかという書いている。	芦屋市		75.4
		全国		76.7
55	国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。どちらかといえば解釈している。	芦屋市		78.5
		全国		82.0
56	国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理している。どちらかという整理している。	芦屋市	79.2	
		全国	78.3	
57	国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら伝える内容を考えている。どちらかというと考えている。	芦屋市	81.1	
		全国	80.0	
58	国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いている。どちらかという書いている。	芦屋市	85.5	
		全国	83.2	
59	国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目している。どちらかというとしている。	芦屋市	85.1	
		全国	84.4	
60	算数（数学）の勉強が好き。どちらかという好き。	芦屋市	65.6	57.4
		全国	61.0	57.2
61	算数（数学）の勉強は大切だと思う。どちらかという思う。	芦屋市	95.7	86.9
		全国	94.6	87.2
62	算数（数学）の授業の内容はよく分かる。どちらかというよく分かる。	芦屋市	87.5	80.4
		全国	82.1	75.7
63	算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。どちらかという思う。	芦屋市	94.0	74.6
		全国	94.1	78.5
64	算数（数学）の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える。どちらかという考える。	芦屋市	76.3	52.6
		全国	77.9	57.2
65	算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。どちらかという考える。	芦屋市	84.9	79.3
		全国	83.3	78.1

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
66	算数(数学)の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている。どちらかというとしている。	芦屋市	63.8	40.7
		全国	63.6	46.0
67	算数(数学)の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしている。どちらかというとしている。	芦屋市	86.4	77.2
		全国	84.6	77.0
68	理科の勉強が好き。どちらかというが好き。	芦屋市	81.6	65.6
		全国	83.6	68.3
69	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがある。どちらかというがある。	芦屋市	83.2	68.7
		全国	83.2	70.7
70	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。どちらかというを立てている。	芦屋市	81.9	68.3
		全国	85.6	71.5
71	英語の勉強が好き。どちらかというが好き。	芦屋市	57.5	
		全国	69.3	
72	英語の勉強は大切だと思う。どちらかというと思う。	芦屋市	89.2	
		全国	92.1	
73	英語の授業の内容はよく分かる。どちらかというよく分かる。	芦屋市	75.7	
		全国	78.3	
74	1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていた。どちらかというで行われていた。	芦屋市		84.3
		全国		83.3
75	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていた。どちらかというで行われていた。	芦屋市		86.4
		全国		85.6
76	1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていた。どちらかというで行われていた。	芦屋市		67.9
		全国		68.8
77	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた。どちらかというで行われていた。	芦屋市		90.1
		全国		82.4
78	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていた。どちらかというで行われていた。	芦屋市		86.6
		全国		85.7

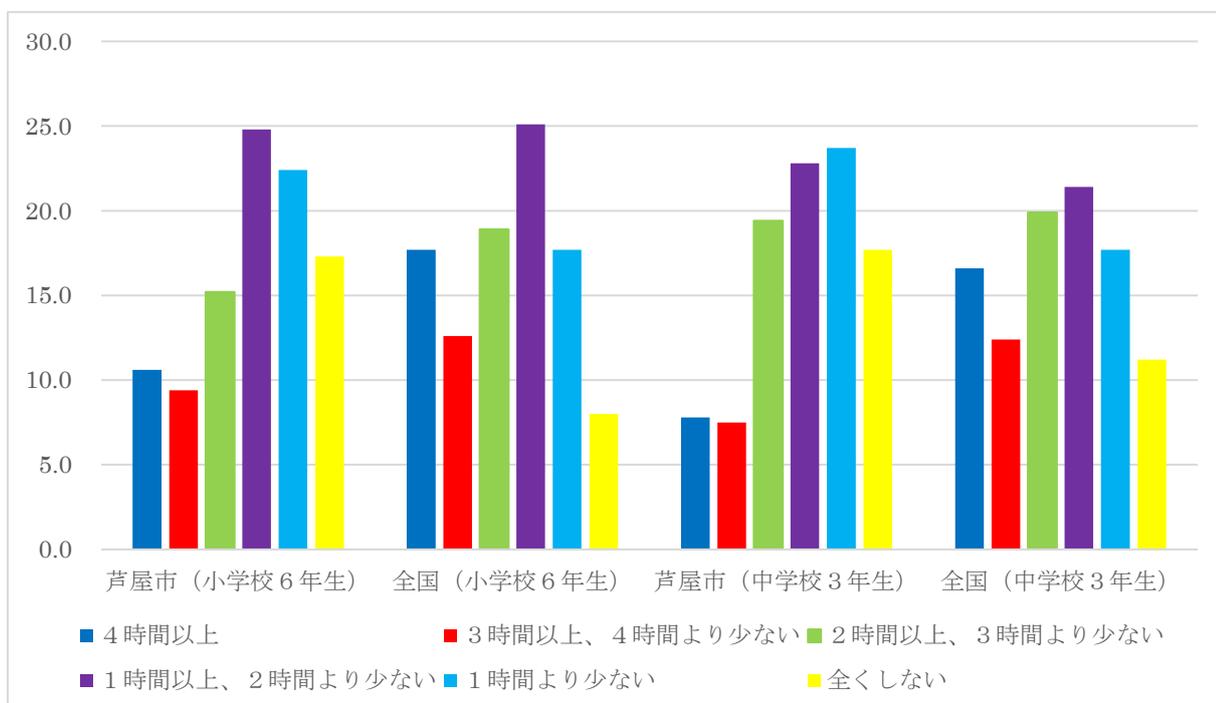
No.	質問事項	区分	小学校	中学校
国 1	国語の文章で答える問題について、すべての問題で解答を書こうと努力した。	芦屋市	76.5	75.1
		全国	79.1	72.0
国 2	国語の解答時間が十分だった。(小:45分 中:50分)	芦屋市	63.5	72.5
		全国	68.5	74.5
算 1	言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題について、すべての問題で解答を書こうと努力した。	芦屋市	81.8	
		全国	78.7	
算 1	解答を言葉や数、式を使って説明する問題について、それらの問題について、すべての問題で解答を書こうと努力した。	芦屋市		61.2
		全国		50.0
算 2	算数(数学)の解答時間は十分だった。(小:45分 中:50分)	芦屋市	87.1	78.6
		全国	84.2	73.6

## 8 児童生徒の生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査結果（別項）

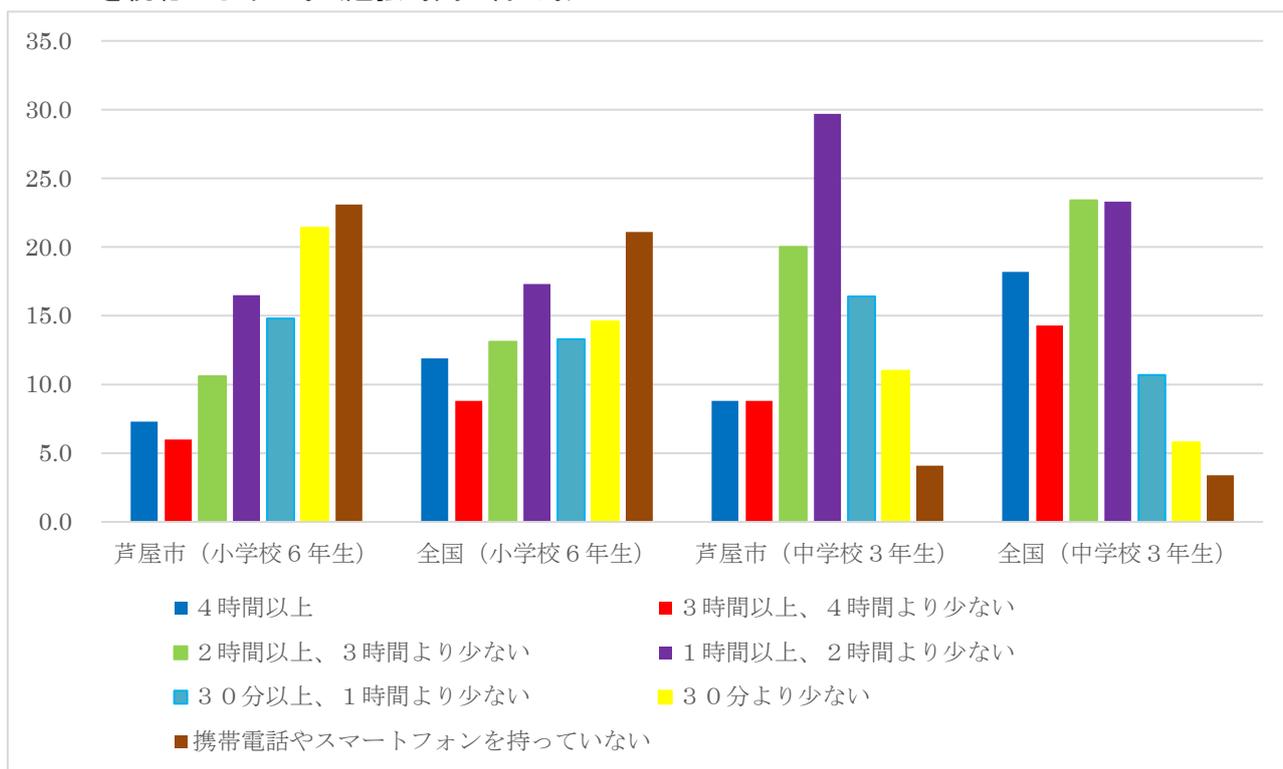
### 18 あなたの家には、およそどれくらい本がありますか。



### 30 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどのぐらいの時間、テレビゲーム（スマートフォンなども含む）をしますか。



3 1 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどのぐらいの時間、携帯電話やスマートフォンで動画などを視聴しますか。（勉強時間は除く。）



3 5 放課後や週末に何をしておこなうことが多いですか。

